

令和 5 年度中河内医療・病床懇話会における主な意見（概要）

開催日時：1月17日 場所：八尾市水道局4階 大会議室

1 第8次大阪府医療計画に関する意見

【在宅医療】

- 在宅医療に必要な連携を担う拠点の具体的な内容や補助金について示してほしい。
- 在宅医療に必要な連携を担う拠点は医師会が担うことができると思うが、積極的な役割を担う医療機関のリストに医師会員以外の医療機関が含まれている。こうした医療機関と医師会は、連携を取ることが難しいのではないか。

2 地域医療構想の推進に関する意見

【全体】

- 大阪市内に患者が流出し、市内で診てもらうことに問題がない訳ではない。有事に備えた体制は圏域内で確保すべきであり、高度急性期や急性期への転換は問題ないのではないか。
- 過去より、回復期病床が大幅に不足していると説明されているが、実際に問題が起きているように思えない。今後、地域医療構想を見直すとのことだが、現状の推計値が変われば、現在議論していることが意味をなさなくなるのではないか。

【各病院の対応方針（病院プランにおける2025年に検討している病床機能等）】

- (1) 公立・公的病院
特になし。
- (2) その他、民間病院等
特になし。

【保健医療協議会において対応方針について説明を依頼する病院】

特になし。

【重点支援区域の申請（申請しないことについて）】

特になし。

【病床機能再編支援事業申請医療機関】

特になし（申請医療機関なし）。